

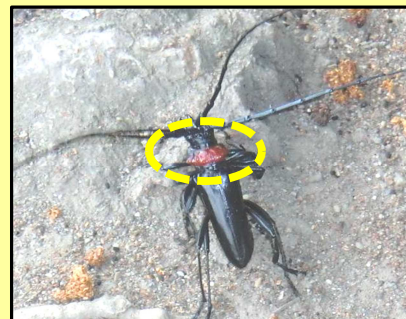
クビアカツヤカミキリの 防除にご協力ください。

○クビアカツヤカミキリについて

【体長】 約2.5～4センチメートル

【特徴】 全体的に光沢のある黒色で胸部(首部)が赤色

【生態】 幼虫は、樹木内部で2～3年かけて成長し、6月中旬～8月上旬に成虫となって樹木の外に現れます。



○被害について

幼虫はサクラやモモなどの生木に食入します。フラス(木くずとフンが混ざったもの)を発生させながら食入し、加害が進行すると樹木を衰弱させ、落枝等による被害が発生する可能性があるため、注意が必要です。



幼虫が食入した跡(フラス)

○防除の方法について

〈幼虫の場合〉

・フラスの発生している食入孔から薬剤を注入し、樹木内で殺虫する。

□登録農薬 ※指定された使用方法を守ってご使用ください。

- ・ロビンフッド(住友化学㈱)
- ・ベニカカミキリムシエアゾール(住友化学園芸㈱)
- ・アクセルフロアブル(日本農薬㈱)
- ・園芸用キンチョールE(大日本除虫菊㈱)
- ・マツグリーン液剤2(日本曹達㈱)

〈成虫の場合〉

・成虫を発見した場合は、まん延防止のため捕殺していただきますようお願いいたします。

※平成30年1月15日より外来生物法に基づく特定外来生物に指定されました。特定外来生物は、飼養(飼育)・保管、輸入、販売、譲渡、野外へ放つことが禁止されています。違反すると、個人の場合は最大で300万円の罰金若しくは3年間の懲役が科せられます。